

# 5日に温泉カフェ&マルシェ

## 宝泉寺の魅力 学生が発信

【別府・九重】別府市の別府溝部学園短大食物栄養学科温泉コンシェルジュコースは11月5日午前11時から、「宝泉寺温泉郷 温泉カフェ&マルシェ」を九重町菅原の宝泉寺旧駅舎で開く。豪雨災害からの復興支援や地域活性化を目指し、同町と玖珠町の特産品を使って開発したオリジナル商品を販売する。

### 別府溝部学園短大 オリジナル商品販売

温泉コンシェルジュコースは2018年から、両町の魅力や観光資源について学び始めた。本年度は県の地域連携プラットフォーム推進事業の一環で観光資源を調査。商品開発をはじめ、新たな観光ツアーの提案、旅のレシピ本作製に取り組

んでいる。災害や人口減少、高齢化などの課題を意識しながら、学生ならではの視点を生かす。マルシェは初の試み。旅館経営者らを中心に立ち上げた「宝泉寺温泉郷」元「気プロジェクト」との協働で開催し、地域の魅力を

発信する。オリジナル商品は同学科の学生が試作を重ねて開発した。玖珠産の大麦粉や九重産シイタケを使った「大麦しいたけロール」、九重産ブルーベリーを生かした焼き菓子など5品を販売。同プロジェクトが開発した温泉コーヒーや

地元産の野菜も販売する。同コース1年の牟田吉未来さん(19)、白川聖さん(19)、山本彩花さん(19)は「ブルーベリーや大麦を使った商品のおいしさを楽しんで。温泉郷も散策してほしい」と来場を呼びかけている。(佐藤弘子)

九重町で開催する「温泉カフェ&マルシェ」をPRする別府溝部学園短大の学生。「ブルーベリーや大麦を使った商品のおいしさを楽しんで」と話す

